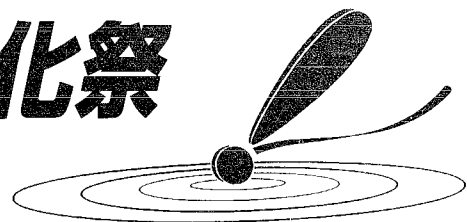


にぎわいました!

中ノ口川さわやか文化祭

各会場とも、素晴らしい作品でいっぱい!



去る、11月29日、30日の両日、白根市・味方村・月湯村・中之口川を会場に、中ノ口川さわやか文化祭が開催されました。
2日間とも、あいにくの天候でしたが、各会場とも、身近かな芸術を見ようというこで、延べ2,500人が入場され、にぎわいました。
今年はじめに企画されたこの文化祭は、市村の粋をこえて、それぞれの作品を発表、観賞することにより、一層の技術の向上を図ることを目的に開催され、初期の目的を十分果たしたものと思われます。
今後とも、それぞれ部門ですばらしい作品ができるものと期待しております。



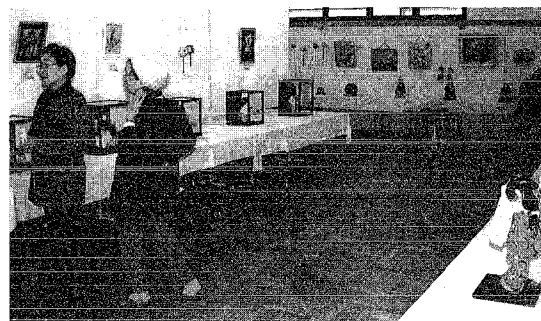
▲4市村長のパネルディスカッションも楽しく



▲白根市 日本画会場



▲月湯村 洋画・写真会場



▲味方村 手工芸・陶芸会場



▲中之口村 書道会場

年末年始の少年非行・犯罪被害の防止

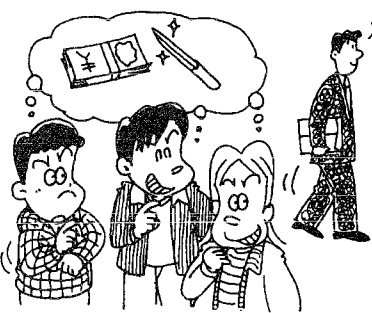
深刻化する少年非行

少年非行や少年が被害に遭う犯罪が全国的に増えています。
年末年始は、冬休みの解放感から少年が非行に走りやすい時期。
お父さん、お母さん、なにかと忙しくなる師走ですが、お子さんに不安定な様子を感じ取ったら要注意。親子での気持ちの通い合いを図ってください。

特徴は、いきなり・遊ぶ金欲しさ・模倣

少年による非行といえば、今年五月、社会に大きな衝撃を与えた中学三年生による児童殺傷事件が記憶に新しいところですが、ほかにも、高校生による強盗の多発や覚せい剤乱用の増加など、少年非行は極めて深刻な状況にあります。

平成九年上半期(一～六月)に、殺人、強盗、放火などの凶悪犯として全国で補導された少年(十四～十九歳)は一千四十人。暴行、傷害、恐喝などの粗暴犯として補導された少年は八千四百六十人に



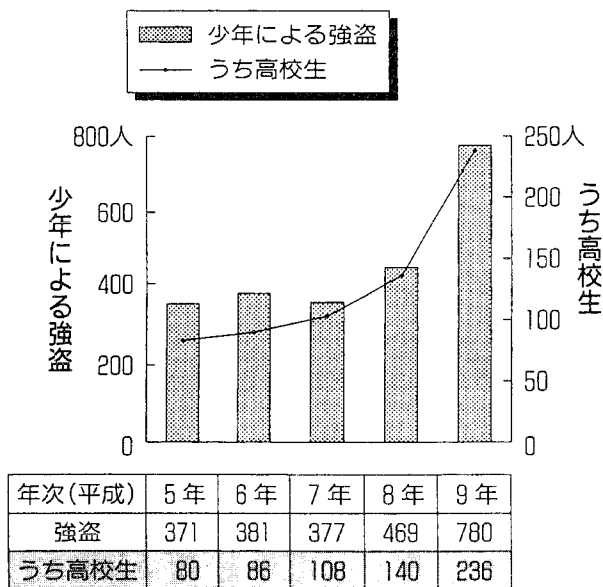
上ります。それぞれ前年同期に比べて大幅に増え、特に高校生を中心とした強盗が急増しています。

深刻化する少年非行の背景には、非行に対する少年たちの抵抗感・罪悪感の希薄化などが指摘されています。非行を犯した後も、その重みを感じられない少年たちが少なくないのです。

かつての非行の典型は、万引きなど比較的軽い犯罪を繰り返した少年が次第に行方をエスカレートさせていくというものでした。ところがいまは、どこにでもいる非行歴のない少年がいきなり重大な非行に走る例が数多く見られます。

また、遊ぶ金欲しさから非行に走ったり、他の事件を真似たり、友達同士で安易に、といった点も最近の非行の特徴です。
非行の低年齢化や女子非行の増加も心配されています。中学生による恐喝やひったくり、女子による傷害などが著しく増えているほか、テレホンクラブなどをきっかけ

少年による強盗事件の推移(1～6月期)



けとした女子の性非行や性的被害のケースも目立っています。

非行の一般的な兆候としては、①深夜遅くまで帰ってこない

②不相応に高価な物を持っているなどが挙げられ、我が子と積極的にかかわり、コミュニケーションを欠かさない保護者の姿勢が必要

です。さらに、小学生・中学生を中心に、少年が被害者となった犯罪も増加の傾向にあります。

警察庁では、十二月の重点課題

に「年末年始における少年非行及び犯罪被害の防止」を掲げ、保護者だけでなく地域全体で子どもたちを守る社会の取り組みを求めています。

少年の非行や犯罪被害に関してのご相談は、ヤングテレホン(少年相談電話)にご連絡ください。

東京03-3580-4970

非行の低年齢化と女子非行の増加